

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	津久井やまゆり園		
所在地	相模原市緑区千木良 4 7 6		
サイトURL	<a href="http://www.kyoudoukai.jp/">http://www.kyoudoukai.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H27. 4. 1～H37. 3. 31	施設所管課	障害福祉課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度及び収支状況はS評価となったため、3項目評価はS評価となった。 27年度より第2期指定管理が開始となった。今後の対応としては引き続き、在宅や民間事業所では支援困難な強度行動障害を有する利用者への支援、加齢児の受入れ等、県立福祉施設としての役割を果たしてもらいたい。 なお、利用者が食物を喉に詰まらせ窒息死する事故があったので、再発防止に万全を期す必要がある。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>【管理運営等の状況】 在宅や民間事業所で生活される障害児者に対する支援として、短期入所枠を活用した3,499名(延べ人数)の受入れ、在宅障害児者週末余暇支援や強度行動障害者地域生活サポート事業研修会の開催等、地域サービス事業を積極的に開催している。</p> <p>【利用状況】 施設入所、生活介護、短期入所の利用充実を図り、計画的に利用者を受入れることにより、利用者数は安定した数値となっている。利用状況の対前年度比が、101.3%となりA評価となった。</p> <p>【利用者の満足度】 重度の知的障害のため、4段階評価による評価は困難であることから利用者家族を対象に満足度調査を実施。上位2段階の回答割合が90%となったため、S評価となった。 回収率は40.9%と低かったため、調査票の配布方法や実施方法、未回答の家族への配慮等について改善策の検討を依頼した。</p> <p>【収支状況】 当初予算に対し、報酬改定(重度障害者支援加算Ⅱ等)を理由とした収入の増により、収支差額は当初予算比168.7%となったためS評価となった。</p> <p>【苦情・要望等】 職員対応に関する苦情が2件寄せられたが、速やかに謝罪及び再発防止策を講じ、対応を行った。</p> <p>【事故・不祥事等】 ・ひやりはっと報告書、事故報告書の集計と分析等を行い、事故の未然防止に努めている。 ・利用者が骨付き肉を大きな塊のまま口の中へ押し込み、喉に詰まらせて死亡する事故があった。予見不可能な突発的な事故であったが、再発防止策(普段と異なる食形態を提供する時は安全措置を講じる)を徹底した。</p> <p>【労働環境の確保に係る取組状況】 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

3項目評価	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多様な障害特性に合わせた特色ある施設運営を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設入所支援の利用 (H26年度実績97%→H27年度実績98%)</li> <li>生活介護の利用 (H26年度実績91%→H27年度実績92%)</li> <li>短期入所の利用 (H26年度実績101%→H27年度実績96%)</li> </ul>	在宅や民間事業所での支援困難ケース受け入れる等、重度知的障害者への支援に取り組んだ。
人権擁護の理解促進を図るため職員の資質向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の振り返りシートを活用、セッションごとに振り返りを実施、家族・事業所協会にて本取組みの実践報告会を実施。</li> <li>虐待防止、権利擁護をテーマにした職員研修を4月27日、5月18日、5月29日に実施。</li> </ul>	
積極的な地域貢献として地域サービス事業を展開・拡充を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コンサート、余暇活動サークル(バーベキュー、クリスマスランチ等)の実施。地域イベントへの積極的な参加。</li> <li>外部の方が参加できる研修の実施、有資格職員による救命救急講習会の実施。</li> </ul>	強度行動障害者支援に関する研修会や救命救急講習を地域の民間事業所向けに開催し、地域の中核的な役割を果たしている。
在宅障害児者支援のために地域関係機関とのネットワーク構築をはかり、相談支援体制を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援利用件数。障害者3,095件。障害児536件。合計3,631件。多くが電話相談だが、来所相談266件、訪問相談239件。</li> </ul>	ケア会議にも積極的に参加、アウトリーチにも積極的に取り組み、連携強化に努めた。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
相模原市障害者等日中短期入所事業実施要綱に基づき、日中一時支援事業を実施している。	在宅の障害者の地域生活の充実を図り、一時的な預かりのニーズに応えるため、日中活動・食事等の生活支援、余暇支援及び送迎等を実施した。平成24年7月からは毎週土曜日を稼働日としている。平成27年度は延べ184人の利用があった。

#### 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	52,292	52,991	53,663
対前年度比		101.3%	101.3%
目標値	150	150	150
目標達成率			

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため

利用者数の算出方法(対象)： 施設入所者の延べ人数

[ 参考：最大利用可能人数/年 ]

	施設入所	生活介護	短期入所		合計
定員	150	160	10		
年間利用可能日数	366	255	366		
最大人数※	54,900	40,800	3,660		99,360
稼働率					

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査	平成27年12月13日から平成28年1月22日の期間に実施。施設入所利用者の家族宛に調査票を手渡し又は郵送にて配布した。概ね満足との評価結果であったが、回収率40.9%であったため、改善策を検討中である。

### 〔施設としての総合的評価〕

質問内容 現在、津久井やまゆり園の運営体制・支援体制に満足していますか  
 実施した調査の配布方法 直接配布・郵送 回収数／配布数 61 / 149 = 40.9%  
 配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	35	20	5	1	61	・県営時より明るく、のびのび生活している。 ・建物は古く、においが気になる。
回答率	58.0%	32.0%	8.0%	2.0%		
前年度の 回答数					0	
前年度回答率						
回答率の 対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### 〔参考：職員の対応状況〕

質問内容 職員との連絡はうまくとれていますか  
 実施した調査の配布方法 直接配布・郵送 回収数／配布数 61 / 149 = 40.9%  
 配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	38	22	1		61	・誠意ある姿勢と素早い対応 を実行して下さい。
回答率	62.0%	36.0%	2.0%			
前年度の 回答数					0	
前年度回答率						
回答率の 対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### 〔参考：その他〕

施設利用者の大半が重度の知的障害を有しているという理由から4段階評価による満足度調査は困難であると判断し、平成27年度より利用者家族向けに調査を実施した。

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算額/収支差額の当初予算額
前々年度	当初予算	461,821	761,188	13,470	備考欄参照	1,236,479	1,155,895	80,584	
	決算	461,821	776,653	168,266	備考欄参照	1,406,740	1,577,188	-170,448	-211.52%
前年度	当初予算	475,350	778,216	8,120	備考欄参照	1,261,686	1,198,726	62,960	
	決算	464,846	819,995	17,436	備考欄参照	1,302,277	1,252,083	50,194	79.72%
27年度	当初予算	374,024	819,755	16,053	備考欄参照	1,209,832	1,097,371	112,461	
	決算	374,024	854,646	17,006	備考欄参照	1,245,676	1,055,959	189,717	168.70%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考> その他収入の内訳

○25年度

当初予算

・経常経費補助金収入 1,800  
・寄付金収入 900  
・雑収入 7,170  
・受取利息配当金収入 100  
・会計単位繰入金収入 3,500

決算

・経常経費補助金収入 1,800  
・寄付金収入 880  
・雑収入 12,939  
・受取利息配当金収入 6  
・会計単位繰入金収入 8,500  
・経理区分間繰入金収入 95,041  
・備品等購入積立預金取崩収入 49,100

○26年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 900  
・受取利息配当金収入 100  
・その他の収入 7,120

決算

・経常経費寄付金収入 1,642  
・受取利息配当金収入 25  
・その他の収入 15,769

○27年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 900  
・受取利息配当金収入 100  
・その他の収入 15,053

決算

・経常経費寄付金収入 867  
・受取利息配当金収入 10  
・その他の収入 16,129

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
2015年6月	184	地下ピット漏水配管工事(184)
2015年5月	174	給水ポンプ整備工事(174)
2016年3月	601	受水槽天面塗装工事(601)
2016年3月	1,170	居住棟トイレブース交換工事(1,170)
2016年3月	2,700	職員公舎世帯棟屋上防水工事(2,700)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 千円以上 )

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額 (千円)	内 容 (金額 (千円) )
収 入		
支 出	4,161	東棟駐車場フェンス目隠し設置179千円 管理棟ピロティ木製目隠し設置171千円 はなホーム106号室押入れ解体145千円 つばさホーム脱衣室床壁改修290千円 にじホーム食堂パーテーション805千円 にじホーム休憩室空調機168千円 ゆめホーム静養室空調機333千円 洗濯場休憩室空調機203千円 はなホーム洋式便器改修484千円 はなホーム洋式便器改修484千円 ゆめホーム洋式便器改修484千円 いぶきホーム居室改修195千円 MCA無線アンテナ220千円
積 立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件 件		
職員対応	口頭 2 件	①園より郵送した郵便物の宛名の名字と郵便番号が間違っていた。今まではこんな事はなかった。次回からはきちんと送って欲しい。  ②短期入所事業を利用の際、支援要望を直接職員に伝えたが周知・徹底が出来ていなかった。	①古い住所録が残っていたための誤郵送となった。ご家族に謝罪すると共に、台帳を更新し古い住所録等は削除し対応を行う。ご家族からの理解も得られ、再発防止に努める。  ②直接謝罪をすると共に、改善に向けた検証を進めていく旨を報告をする。これまでの対応経過と改善に向けた検証・解決策を報告する。事業所からの説明に対して納得を得られ理解していただける。この結果を受け、苦情としてではなく要望として受け止めて欲しいとの話を受ける。
事業内容	件 件		
その他	件 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
2015/8/17	左足指第3指第4指基節骨折。本人からの痛みの訴えにより判明。	歩行は自立しており、受傷原因を特定できない状況。	①見守り、巡回を強化し、周知徹底を図っていく。本人の変化(歩き方や言動等)に気づき、早期対応ができるよう努めていく。
2015/12/29	4名の職員を配置し、利用者6名にフライドチキンを提供したところ、突然、隣席の利用者の骨付き肉を大きな塊のまま口の中へ押し込んでしまった。一瞬の出来事で制止することが出来ず喉に詰まらせてしまった。職員が救急車到着まで蘇生を行った。	突発的行動を防げず食物を詰まらせ窒息してしまう。 (同日、死亡)	①園内で提供する食事形態の見直し(骨付き肉の提供禁)、普段とは違うイベントの際の職員の見守り方法、食事提供方法を再確認し、園内応急手当講習内容を再確認すると共に再発防止に努める。突発的行動に対してのリスクマネジメントを再度見直し、徹底を図っていく。 ②予見不可能な突発的な事故であること及び再発防止策を確認。 ③指定管理者と再発防止策の徹底を確認し、普段と異なる食形態を提供する時は安全措置を講じた上で園の責任において実施する。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。